

海上の森自然観察会

テーマ 湿地の植物を見よう

日時 2014年8月16日(土)10:00~14:15(曇り一時晴)

参加者 一般:1名(子ども0) 指導員:7名

降水確率の高い予報でしたが、幸運にも夜明け前の雨が上がりましたので、サギソウやハッチョウトンボを見に屋戸湿地から赤池方面を回ることとしました。立秋を過ぎ暦の上では既に秋で、クズやアレチヌスビトハギなどの花が咲き始めたというのに気温も湿度も高く、熱中症に注意が必要で、時々水分補給をしながらの観察です。

出発前に、駐車場でハチクマやコシアカツバメの飛翔が見られ、水田の上に張られた赤色の網にカブトムシが2頭絡まっているのも見られました。コシアカツバメは近年ではあまり見かけなくなっていたということですが、この時は群れで飛び交っていました。

屋戸湿地ではサギソウやサワシロギク、ミミカキグサ、ホザキノミミカキグサ、ミカヅキグサなどが咲き、ハッチョウトンボ、キイトンボ、リスアカネ、ネキトンボ、シヨウジョウトンボ、シオカラトンボ、オオシオカラトンボ、ギンヤンマが見られました。ハッチョウトンボのオスは体色の赤が目立つので容易に見つけられますが、虎縞模様のメスは目を凝らさないとなかなか見つけることができません。

吉田川沿いでは時折サンコウチョウの声が聞こえ、道端にコバノカモメヅルとココモメヅルの両種が見られ、花の大きさや形状の違いを比較できました。

赤池で昼食をとって、海上の里方面に向かいましたが、雲行きが怪しいので、サテライトには行かず、物見山に向かう道で鎖の張られた所から林道を下って駐車場を目指しました。途中で雷鳴が聞こえ始めたので、急ぎ足となりましたが、雨に降られることなく観察会を終えることができました。

暑い暑いと言いながらも、季節は着実に巡っており、アサギマダラ、ツクツクボウシ、ナガバノコウヤボウキの花など秋の気配が感じられた観察会でした。(報告:齋竹善行)

<その他観察できたもの> 花:キハギ、アレチマツヨイグサ、ノリウツギ、キンミズヒキ、オニドコロ、ヤマノイモ、ヘクソカズラ、クズ、ノブドウ、ヤブラン、ナツフジ、ダイコンソウ、ミズヒキ、ミズタマソウ、ツユクサ、クサギ、ヌスビトハギ、ヒヨドリバナ、ゲンノショウコ、シラヤマギク、ガンクビソウ、サネカズラ、アキノタムラソウ、センニンソウ 鳥:ツバメ、コジュケイ(声)、メジロ、キジバト、サンショウクイ(声)、キセキレイ、コゲラ、ヤマガラ、キビタキ、ハシブトガラス、エナガ 昆虫:クマゼミ(声)、アブラゼミ、ニイニイゼミ(声)、チョウトンボ、オニヤンマ、ウスバキトンボ、ウラギンシジミ、キタテハ、サトキマダラヒカゲ、モンキアゲハ、キタキチョウ、オオチャバネセセリ、クロメンガタスズメ(幼)、シンジュサン(幼)、コアオハナムグリ、ヤマトタマムシ、ツマグロイナゴ その他:トノサマガエル、カナヘビ、トカゲ



観察会のようす



ミミカキグサ